

**躍進**

**薩摩川内市  
体育協会**

Vol. 33

市体育協会の加盟団体から、今回は入来地域体育協会を紹介いたします。



〔団体の紹介〕

入来地域体育協会(以下「地域協」)は、副田・清色・大馬越・朝陽・八重の5支部で組織しています。副田支部を3ブロック、清色支部を2ブロック、他の支部は1ブロックとし、8ブロックで各種大会を実施しています。

各種大会を通じて生涯スポーツの推進に努め、地域住民の健康維持や住民相互の親睦と融和を図り、地域づくり

に寄与することを目的としています。

合併後、地区コミュニティ協議会制度がスタートし、地区コミュニティ協議会における地域協の関わり方を確立しながら、スポーツ推進委員、学校、各種団体、行政とのさらなる連携の強化に努め、運営を行っています。



〔活動内容〕

○各支部内の交流および大会  
地区コミュニティ協議会単位で支部を組織していることから、それぞれの支部の状

況に応じた大会(バレーボール、ソフトボール、グラウンド・ゴルフなど)や健康づくり、子どもから高齢者までの幅広い世代交流などを行い、小学校運動会と同時開催の地区運動会も行っています。



○地域協主催大会および各種事業

8ブロックによる男女バレーボール大会、ソフトボール大会、運動会、グラウンド・ゴルフ大会などの実施や、地区コミュニティ対抗綱引競技大会および市民運動会、地域対抗ソフトボール大会、バレーボール大会に参加しています。



〔今後の活動〕

市体育協会主催の各種大会への参加をスムーズに行うために、支部および地区コミュニティ協議会との連携強化を進めていきます。

また、市民運動会上位進出に向けて、昨年11月26日(日)に入来地域体育祭を開催し、多くの参加者で和気あいあいと楽しめました。これからも、こうした取り組みを継続しながら、入来地域のスポーツ振興を推進していきます。



〔市体育協会のさらなる発展を願って〕

2020年開催の東京オリンピック、鹿児島県国体に向け、スポーツへの機運が高まることが予想されます。

私たちの地域には、アトラクタやシドニーオリンピックの2大会にウエイトリフティング競技の日本代表として出場した池畑大氏(市スポーツ大使)がいます。池畑氏は、家業を営みながら選手(川薩清修館高校の生徒など)を指導・育成し、スポーツの振興に尽力しています。

鹿児島県国体では、入来総合運動場体育館がウエイトリフティング競技の会場になります。これらを起爆剤にして、市体育協会、地域体協、各競技団体がますます発展・充実することを期待しています。当体協もその一翼を担えるように努めていきます。

〔役員・問合せ先〕

- 会長 花田 博之 (44) 3456
- 副会長 勝田 芳孝 (44) 3456
- 副会長 一村 隆司 (44) 3456
- 理事長 春園 善弘 (44) 3456

# 大綱心で交通安全!

～高齢者の交通事故防止について～

平成28年、県内で発生した高齢者が関係する交通事故(65歳以上の事故)は、発生件数2863件、死者41人、負傷者1776人です。特に、全死者のうち、高齢者が約63%を占め、非常に高い割合となっています。また、高齢者が加害者となる事故も増えており、全国的にも問題になっています。

今回は、その状況を踏まえ、高齢者の交通事故防止について紹介します。

■道路横断時の安全確認の徹底

県内で起きた歩行者の交通死亡事故のうち、高齢者の割合は、83.3%と非常に高くなっています。特に、横断歩道以外での横断中に事故に遭うケースが増加しています。

横断歩道が設けられている付近では必ず横断歩道を渡りましょう。また、道路を横断する際は、右・左・右と安全確認を行い、道路の中央付近でもう一度、左から車が来ないか確認して渡りましょう。

■夜間外出時の服装と夜光反射材の着用  
夜間歩行中に交通事故で亡くなった方のほとんどが、夜光反射材を身に着けていなかったことが分かっています。夜間外出時には、明るい服装を心掛け、夜光反射材を着用するなど、なるべく運転手が気付きやすい格好で出掛けましょう。



早朝、夕方、夜間は明るい格好で!!

反射材が効果的!

■加齢に応じた運動

・運転に集中しましょう。

お～おはようから  
お～おやすみまで  
つ～常に交通安全を意識して  
な～無くそう交通事故

Vol.10

- 〔問合せ先〕
- ▼本庁防災安全課危機管理グループ 03-5111(内線4932)
- ▼薩摩川内警察署交通課 0110

返納カードまたは、運転経歴証明書  
を所有している方

〔受付〕 薩摩川内地区交通安全協会  
(原田町 薩摩川内警察署内)  
025) 3100

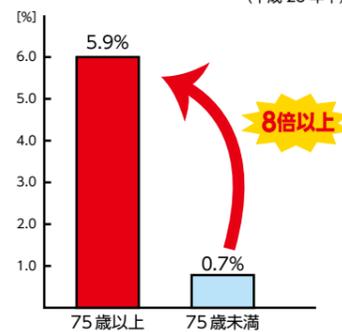
■運転免許証の自主返納  
運転に不安を感じたら、運転免許証の自主返納を検討しましょう。

■運転免許証自主返納メリット制度  
本市では、運転免許証を自主的に返納した高齢者に対して、市内のタクシー会社で利用できるタクシードライバー5000円分を、1回に限り交付しています。

〔対象〕 次の全てを満たす方  
▼本市に居住する65歳以上の方  
▼有効期限が平成28年4月1日以降であり、有効期限内に運転免許証を自主返納した方

\*平成28年3月31日以前に返納した方は、この制度の対象にはなりません。  
▼薩摩川内警察署で運転免許証の自主返納手続きを行い、発行された自主

ブレーキとアクセルの踏み間違いによる死亡事故の年齢別の割合 (平成28年中)



■サポカー(運転支援機能付き車両)の利用  
自動ブレーキやペダル踏み間違い時の加速抑制装置などを搭載した車両が普及してきています。  
平成28年に高齢者ドライバーの死亡事故の原因として最も多かったのは、ブレーキとアクセルの踏み間違いです。運転に不安がある方は、サポカーの利用を検討されてはいかがでしょうか。